

# ビッグハート BigHeart

第34号  
発行 令和3年12月

郡山市字上亀田1番地の1  
TEL 024-934-1240  
郡山市医療介護病院  
広報委員会 発行



## 基本理念

生命の尊重と個人の尊厳を旨とし  
和をもって市民に信頼される  
保健・医療・福祉サービスを提供します。



静岡大学との共同研究(オンライン)の様子

## 巻頭言



院長  
原 寿夫

令和元年十二月以来、二年ぶりの広報誌となります。令和二年一月、日本で最初の新型コロナウイルス感染症の方が確認され、以後全国的に感染症が蔓延し、当院でも次頁以降のような対応をさせていただきました。

感染症の歴史を振り返ると、廃藩置県で人の移動が自由になった明治期、スペイン風邪が世界的に流行した第一次世界大戦の頃等々、人の移動が活発になると感染症が拡大するということを繰り返してきました。

そして、第二次世界大戦後の高度経済成長期からの医療は、交通事故や生活習慣病、ガン等、救急医療から高度医療、そして予防医学を含め一人ひとりの個々の病気の早期発見早期治療を基本にしてきたと思います。

しかし、感染症は、高度な医療技術を駆使したとしても防ぐことは困難であり、日常生活でのマスクや手洗い等基本的な生活習慣が大切です。生活習慣病やガン等への対応とは異なり、人と人とのかかわりの中で、その拡大をどのよう抑えられるかを、地域ごと、生活圏域ごとに考えて、行動する

ことが求められます。そのためには、自分たちの地域は、自分たちで守ることが大切であり、介護も含めた生活を守る要の一つとして、「在宅医療・介護連携支援センター」があります。このセンターは、郡山市から郡山医師会が委託を受け、当院に事務所があり、医療介護等の専門職向け相談窓口として情報共有の要となっています。かかりつけの医療機関や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等を介して皆さんの生活を支えています。

さて、優しさを伝えるケア技術として、私たちが学んでいる「ユマニチュード」は、正面から二〇センチ位の近い距離で目を見、手のひら以上の面積で優しく触れ、低いトーンでゆっくりと話しかけ、そして立つことによって、あらゆる拘束から自由を得、人としての尊厳が保てる手助けすることを目的としています。

しかし、新型コロナウイルス感染症への対応の中では、これらのことには様々な課題もあり工夫をしながら、より良い方法をみんなで学んでいます。以前からご指導をいただいています東京医療センターや静岡大学情報学部の方々と共に、全職員が患者さんやご利用者の方のかかわり方を各自映像に撮り、解析評価する中で、自己研鑽していく学習方法の確立について共同研究させて頂いています。これからも、感染対策をしながら、地域の医療と介護の連携を進めていきたいと思っております。ご支援ご協力のほど、よろしくお願いたします。

# 新型コロナウイルス 院内感染防止対策の取組み

新型コロナウイルス感染症に対して、院内感染防止対策委員会が福島県や郡山市の感染拡大状況に合わせ随時開催し対策を検討、全職員で院内感染防止及び職員や外来者がウイルスを持ち込まないように対策を徹底しました。また、郡山医師会が運営する病院として、発熱外来の設置や帰国者・接触者外来の指定を受け、行政検査の受託等を通じて地域の感染拡大防止への対応にも取り組みました。これらの対策とご家族を始め皆さまの協力により、院内感染及び職員の感染等は発生していません。



空気感染隔離ユニット設置の様子



西口玄関・発熱外来設置



衛生的な手洗い研修の様子





感染防護具着脱研修（全職員）



コロナワクチン集団接種（職域）



マスクフィッティングテストの様子

9月～	7月～	5月～	2021年 3月～	12月	11月	10月	9月	8月	7月	5月	4月～	2020年 2月	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種（職域）の協力（八月）</li> <li>・職員研修（八月～九月）</li> <li>「マスクフィッティングテスト・手洗い実技」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山市集団接種会場「亀田会場」</li> <li>（医師、看護師、事務員等の職員チーム派遣）</li> <li>・高齢者のワクチン接種開始（六月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチンの配送作業開始（他医療機関へ）</li> <li>・感染拡大による院内感染防止対策の強化</li> <li>・外来患者のスクリーニング強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆二回目の緊急事態宣言（十一都府県）七十三日間</li> <li>・休日のテレビ面会の対応を開始する（一月）</li> <li>・ワクチン接種チーム始動（二月）</li> <li>・職員研修（三月）（全五回）</li> <li>「防護具の着脱実技、救急カートの確認」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自院における職員の新型コロナウイルス検査費用について一部補助を開始する</li> <li>・シヨートステイ利用者、利用日に自院にてPCR検査開始</li> <li>・職員の県外外出等のガイドラインを一部変更</li> <li>・福島市内に職員派遣要請があり、看護師二名を派遣準備する</li> <li>・年末年始の新型コロナウイルス臨時検査体制を組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の一般事業所へインフルエンザ予防接種のため職員を派遣する</li> <li>・職員研修「新型コロナウイルス感染症について」（講師 県立医大感染制御学講座 原先生）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自院にてPCR検査機器を導入し検査開始</li> <li>・さらに、年度内に四台追加し計五台で稼働</li> <li>・看護学校等の実習前PCR検査を当院で実施</li> <li>・正面及び北口玄関にサーモセンサーを設置</li> <li>・正面玄関入り口を仕切り一方通行とする</li> <li>・職員及び市内診療所職員向け研修</li> <li>「感染防護具の着脱方法と吐物処理の実技」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所リハビリにてパーテーションとサーキュレーターを設置し環境改善</li> <li>・自院にて抗原検査を開始</li> <li>・正面玄関、北口玄関に自動アルコール噴霧器を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来患者向け正面玄関の表示を変更</li> <li>・帰国者・接触者外来を設置</li> <li>（多職種によるシミュレーション実施）</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修「空気感染ユニット説明、防護具等着脱に関する実技研修」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修「空気感染ユニット説明、防護具等着脱に関する実技研修」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正面玄関と病棟をつなぎテレビ面会開始</li> <li>（患者・利用者様とご家族）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆最初の緊急事態宣言（十三都府県）四十九日間</li> <li>・外来待合室のレイアウトを変更</li> <li>・一時間ごとにアルコール消毒、換気を実施</li> <li>・職員の休憩場所、昼食の場所を変更</li> <li>・感染疑い患者の受入れシミュレーション実施</li> <li>・入院二週間前の体調・接触状況確認開始</li> <li>・職員研修の実施（全五回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新型コロナウイルスによる感染症</li> <li>↓「指定感染症」となる</li> <li>◆乗客の感染が確認されたクルーズ船横浜港に入港</li> <li>◆臨時感染防止対策委員会開催（感染対策協議）</li> </ul> 

◆国内の出来事  
・院内の取組み



サーモカメラ・自動アルコール噴霧器設置



テレビ面会の様子



コロナワクチン接種（高齢者）の様子



環境整備・定時消毒の様子



外来患者様の動線検討



感染対策の支援物資



コロナワクチン優先接種（職員）の様子



他医療機関へワクチンの払出準備



院内におけるオンライン研修の実施

## 感染対策の取組み

当院では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため下記の感染対策を強化しております。

1. テーブル、椅子など共用部の消毒を実施しています。
2. 定期的に窓を開けて換気を行っています。
3. 診察や会計等でお待ちいただくスペースは一定間隔を保てるように調整しています。
4. 職員の体調管理、マスク着用、手指衛生（アルコール消毒）を強化しています。

皆様のご協力に感謝いたします。2024年 院内感染防止対策委員会

## 終活セミナー

去る七月二十一日に「終活〜これからの人生、自分らしい人生を」と題して株式会社たまのや渡辺様にご講演をいただきました。地域の方々と一緒に学びました。長いセカンドライフを自分らしく生きがいをもって生き生き暮らせるかを考え、また実際にエンディングノートに記載したり、改めて人生や生きがいを考える時間となりました。



デイルームで幼稚園とオンライン交流



園児からのサプライズプレゼント

新型コロナウイルス感染症の拡大又はまん延防止により、地域との交流がほぼ中止となる中、患者様やご利用者の生活を豊かにするため、今回初めて市内富久山町にある双葉幼稚園、年長組の皆さんの協力を得て、「オンライン交流会」を実現しました。  
交流会では女の子がダンスを披露、男の子は跳び箱を披露してくれました。さらに子どもたちから「好きな食べ物は何ですか?」「好きな色は何ですか?」「好きな昆虫は何ですか?」と質問が寄せられ、患者様もみんなで回答し、短い時間でしたが、小さな子どもたちと交流ができたことで素敵な笑顔がいっぱい時間を過ごしました。

## 幼稚園児とのオンライン交流会

## AED講習会

去る八月二十七日に当院職員で救命救急士を講師として、「一般救命講習」を開催しました。各部署から一名ずつ参加し心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。肺蘇生法の講習では「強く・速く・絶え間なく」を心掛け実践しました。緊急時にはこの講習会が活かせるようにしたいものです。



とを目的に、共同研究を継続的に行ってまいります。  
また、九月には群馬大学准教授の伊東美緒先生を講師として認知症の行動・心理症状(BPSD)に関する研修を実施しました。さらに十一月からはユマニチュード認定インストラクター盛 真知子先生の協力を得て職員教育の推進と優しさを伝えるケア技術を市民に広げるために取組みが新たに始まりました。



認定インストラクター指導の様子



静岡大学とのミーティングの様子

優しさを伝えるケア技術として「ユマニチュード®」を全職員で学んでいます。静岡大学情報学部の方々とは、客観的に普段のケアを捉え直すために、ケアの映像を撮影して、振り返りシートを作成、映像を分析(見える化)し、数値化。自分の強みと弱みを知り、仲間の映像を見ることで適切なコーチングにつなげ、QOLの向上を図ることを目的に、共同研究を継続的に

## ユマニチュード®の取組み

## 外来当番表

診療科目	月	火	水	木	金
内科	太田 一寿	原 寿夫	太田 一寿	原 寿夫	太田 一寿
整形外科	高橋 功	高橋 功	高橋 功	張簡俊義	高橋 功
皮膚科	休	折笠 玲子	折笠 玲子	休	折笠 玲子

◆診療時間 月～金/午前9時～正午まで ◆休診日 土曜日・日曜日、祝祭日、年末年始



- 【交通のご案内】**
- 福島交通バス：郡山駅発第9・10番ポールより乗車下さい。希望ヶ丘、新池下団地行郡山ビッグハート下車
  - 郡山駅より車で十分
  - 東北自動車道郡山インターより車で八分

「郡山ビッグハート」は郡山市医療介護病院と郡山市休日・夜間急病センターの複合施設の愛称です。市民の皆様の健やかで心豊かな生活を支援する施設です。

◆【お知らせ】  
二階の西棟全居室と東棟の一部居室の空調修繕工事を十一月から来年三月にかけて実施します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。  
◆郡山市在宅医療・介護連携支援センターの公式ホームページが開設しました。(koryama-tenkeishien.net)。活動の様子をぜひご覧ください。詳しくは次号で特集します。

【編集後記】  
忘年会や新年会のシーズンに入りますが、少し前までマスクを着用せず楽しくお酒を飲むことは当たり前と思っていました。感染対策により生活が一変してしまいました。徐々に普段の生活に戻ることを願っています。さて、今年度より広報誌を担当させて頂くこととなりました。約二年ぶりの発行となります。院内外の様子をより分かりやすくした紙面作りに努めますので、よろしくお願ひします。